



横浜市立つづきの丘小学校

学校だより つづきの空

5月号

令和4年4月28日

温かさと優しさに包まれて

校長 田淵 恵子

「どうして学校の給食は、美味しいの。」と、登校したばかりの1年生から可愛らしい質問を受けました。4月13日から始まったばかりの学校給食。入学間もない1年生にとっては、毎日違うメニューの給食が楽しみなようです。まだ1か月も経っていない学校生活で緊張もしているでしょうが、毎日、新しい学びに張り切って取り組んでいます。1年生に限らず子どもたちには、日々、感動や成長を実感できる魅力ある学校でありたいと思います。



さて、今年度も地域・保護者の皆様に支えられながら、教育活動をスタートしています。先日、2年生が生活科「ぐんぐんそだて おいしいやさい」と「まちをたんけん 大はっけん」を関連させた学習の一環で、畑探しの探検に出かけました。「野菜をどうやって育てたらいいのかな。」という子どもたちの疑問に、「野菜を育てている方に聞いてみよう。」との思いがきっかけとなりました。実際に学区を探検し、畑を見つけた子どもたちは、「畑に入ってみたいな。」「野菜に触ってみたいな。」と、新たな願いが湧いてきました。それに応えてくださった地域の方のご厚意により、大根の収穫を体験させていただきました。土の匂い、大根を抜く感触、そして抜けたときの感動と、教室では味わうことのできない、心が震えるほどの経験となったことでしょう。その時の子どもたちのはじける笑顔が目には浮かびます。畑探しの探検から、思わぬ収穫体験までさせていただいた子どもたち。畑からの帰り道、「自分は何を育てようかな。」という話でもちきりだったそうです。



生活科は、一人一人の子どもの思いや願いを実現していく一連の学習活動を行うことにより、子どもの自発性の発揮と能動的な活動への意欲を大切にしている教科です。今回は、子どもたちの思いや願いを学校だけでは実現することのできない学びとして、地域の方のご協力を得て体験することができました。子どもたちの思いや願いの実現は、達成感や満足感ばかりでなく、自分らしさや可能性の気付きにもつながり、自己肯定感も高めます。港北ニュータウンという地域でありながら緑豊かな環境に恵まれ学ぶことのできる子どもたちは、本当に幸せです。そして、何よりも地域・保護者の皆様の温かさ、優しさに包まれながら、子どもたちが学びを広げ、深めることができていることに、改めて感謝申し上げます。

情報化社会において、私たちの生活はたいへん便利になりました。日々の疑問はインターネットで検索し、知りたい情報を瞬時に手に入れることができます。しかし、情報は収集できても、体験から得られる感動は経験することはできません。インターネットの即時性、利便性のよさは肯定しつつ、社会がいかに変化しようとも変わらない、「ひと・もの・こと」とつながりから得られる発見や感動、ぬくもりを大事にした教育活動を今後も大事にしていきたいと思います。